

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公開番号】特開2010-194734(P2010-194734A)

【公開日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2009-39174(P2009-39174)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

B 4 1 J 29/00 Z

B 4 1 J 29/42 F

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月19日(2011.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷された用紙を鍵付き排紙手段に排紙可能な画像処理装置であって、

ユーザを認証する認証手段と、

前記認証手段による認証結果に従い、前記鍵付き排紙手段の鍵を解錠する鍵制御手段と

、
前記鍵付き排紙手段に用紙を排紙した複数のユーザの各々が前記認証手段によって認証
されたか否かを示す状態情報を保持する保持手段と、

前記保持手段に保持された状態情報に基づいて、前記認証手段によって認証されてい
ないユーザがいるか否かを判断する判断手段と、

前記鍵付き排紙手段に排紙された用紙の有無を検知する検知手段と、

前記検知手段が前記鍵付き排紙手段に用紙が無いことを検知し、かつ前記判断手段が前
記認証手段によって認証されていないユーザがいると判断した場合、用紙の取り出しに誤
りが発生したことを通知する通知手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記検知手段が前記鍵付き排紙手段に用紙が無いことを検知した後に前記認証手段が未
認証のユーザを認証した場合、当該ユーザが取り出すべき用紙が他のユーザにより取り
出されたことを通知することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

排紙された用紙の履歴を鍵付き排紙手段ごとに管理する排紙履歴管理手段と、

前記認証手段が未認証のユーザを認証した場合、前記排紙履歴管理手段が管理する排紙
履歴を表示する表示手段と、

を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

複数の鍵付き排紙手段をさらに備え、

前記鍵制御手段は、前記複数の鍵付き排紙手段のうち、前記認証手段によって認証されたユーザに対応する用紙が排紙された鍵付き排紙手段の鍵を解錠し、

前記保持手段は、前記鍵付き排紙手段ごとに、用紙を排紙した複数のユーザの各々が前記認証手段によって認証されたか否かを示す状態情報を保持し、

前記判断手段は、前記保持手段に保持された状態情報に基づいて、前記鍵付き排紙手段ごとに、前記認証手段によって認証されていないユーザがいるか否かを判断し、

前記検知手段は、前記鍵付き排紙手段ごとに、用紙の有無を検知し、

前記通知手段は、前記検知手段が前記鍵付き排紙手段に用紙が無いことを検知し、かつ前記判断手段が当該鍵付き排紙手段に対して前記認証手段によって認証されていないユーザがいると判断した場合、用紙の取り出しに誤りが発生したことを通知する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 5】

印刷された用紙を鍵付き排紙手段に排紙可能な画像処理装置における制御方法であって、

ユーザを認証する認証ステップと、

前記認証ステップによる認証結果に従い、前記鍵付き排紙手段の鍵を解錠する鍵制御ステップと、

前記鍵付き排紙手段に用紙を排紙した複数のユーザの各々が前記認証ステップによって認証されたか否かを示す状態情報を保持手段に保持する保持ステップと、

前記保持手段に保持された状態情報に基づいて、前記認証ステップによって認証されていないユーザがいるか否かを判断する判断ステップと、

前記鍵付き排紙手段に排紙された用紙の有無を検知する検知ステップと、

前記検知ステップが前記鍵付き排紙手段に用紙が無いことを検知し、かつ前記判断ステップが前記認証ステップによって認証されていないユーザがいると判断した場合、用紙の取り出しに誤りが発生したことを通知する通知ステップと、

を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項 6】

前記通知ステップは、前記検知ステップが前記鍵付き排紙手段に用紙が無いことを検知した後に前記認証ステップが未認証のユーザを認証した場合、当該ユーザが取り出すべき用紙が他のユーザにより取り出されたことを通知することを特徴とする請求項 5 記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 7】

排紙された用紙の履歴を鍵付き排紙手段ごとに管理する排紙履歴管理ステップと、

前記認証ステップが未認証のユーザを認証した場合、前記排紙履歴管理ステップが管理する排紙履歴を表示する表示ステップと、

を備えることを特徴とする請求項 5 又は 6 記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 8】

前記鍵制御ステップは、複数の鍵付き排紙手段のうち、前記認証ステップによって認証されたユーザに対応する用紙が排紙された鍵付き排紙手段の鍵を解錠し、

前記保持ステップは、前記鍵付き排紙手段ごとに、用紙を排紙した複数のユーザの各々が前記認証ステップによって認証されたか否かを示す状態情報を保持し、

前記判断ステップは、前記保持手段に保持された状態情報に基づいて、前記鍵付き排紙手段ごとに、前記認証ステップによって認証されていないユーザがいるか否かを判断し、

前記検知ステップは、前記鍵付き排紙手段ごとに、用紙の有無を検知し、

前記通知ステップは、前記検知ステップが前記鍵付き排紙手段に用紙が無いことを検知し、かつ前記判断ステップが当該鍵付き排紙手段に対して前記認証ステップによって認証されていないユーザがいると判断した場合、用紙の取り出しに誤りが発生したことを通知する、

ことを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれかに記載の画像処理装置の制御方法。

【請求項 9】

請求項 5 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置の制御方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成する本発明の画像処理装置は以下に示す構成を備える。

印刷された用紙を鍵付き排紙手段に排紙可能な画像処理装置であって、ユーザを認証する認証手段と、前記認証手段による認証結果に従い、前記鍵付き排紙手段の鍵を解錠する鍵制御手段と、前記鍵付き排紙手段に用紙を排紙した複数のユーザの各々が前記認証手段によって認証されたか否かを示す状態情報を保持する保持手段と、前記保持手段に保持された状態情報に基づいて、前記認証手段によって認証されていないユーザがいるか否かを判断する判断手段と、前記鍵付き排紙手段に排紙された用紙の有無を検知する検知手段と、前記検知手段が前記鍵付き排紙手段に用紙が無いことを検知し、かつ前記判断手段が前記認証手段によって認証されていないユーザがいると判断した場合、用紙の取り出しに誤りが発生したことを通知する通知手段とを備える。